

質問の件名及び質問の要旨 (質問時間)	答弁を求める者
<p>1 鶴ヶ島市の進むべき方向について (60分)</p> <p>今後の鶴ヶ島市の進むべき方向性について質問致します。</p> <p>面積 17.73km、人口約7万人の鶴ヶ島市の状況については、市民が生まれ、生涯を閉じるまでの市民が必要とする生活環境についてはほぼ整っており、市民が特別高い要求をしない限りは通常に暮らしていける鶴ヶ島市であります。</p> <p>市長が市民への言葉として「鶴ヶ島市の財政は厳しい」との言葉は深く市民に浸透しており、それほど強い要求はなく、市民の方で理解しているのか、それとも諦めているのかは市民の判断の内であると想定されます。</p> <p>市民が行政に求めるものと、行政の行う内容の差がどの程度のものなのかは数字として表わせるものではなく、市民の考え方、市長の考え方、(職員の考え方)等がそれぞれの立場で大きく変わってくるものと考えられます。</p> <p>市民が行政に対しての期待については、大いに期待しているのか、期待が薄れているのか、それとも諦めているのか、そうした内容をチェック出来る機能等をどこまで取り込んでいるのか、いないのかが政策を大きく左右するものと考えます。</p> <p>そうした中で鶴ヶ島市においては他市と比べ、何処がどの様に違うのか、鶴ヶ島市の特徴を前面に出していく姿勢が大切ではないかと考えます。</p> <p>又、市民が市政に対して、協力体制が出来ているか等についても改めて十分に考慮する事が必要ではないかと思われまます。特定の市民の意見は別として、市民からの意見を何処まで把握出来るのか、本来出るべき所の市民からの意見が出て来ているのだろうかと考えるところであります。</p> <p>同じ様な事を並べましたが、今後の市政運営の上で市民をしっかりと牽引していくのか、市民と市が空回りをしている状況は無いのかをしっかりと見極め、市政運営の上で両者が協調前進することが鶴ヶ島市の進むべき望ましい姿と考えるものであり、以下質問を致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 市民の考え、意見をどの程度まで把握できているか。 (2) 市民から考え、意見の確認体制はどのようなになっているか。 (3) 鶴ヶ島市の特徴とはどのような事と考えているのか。 (4) 市民からの協力体制をどのように判断しているのか。 (5) 今後、鶴ヶ島市の進むべき方向とはどのようなものか。 	<p>市長 教育委員会委員長</p>